

### contents

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 2 臨時会・定例会    | 13 先進地事例調査研究報告 |
| 5 予算特別委員会    | 14 特別委員会       |
| 9 一般質問       | 15 議会日誌        |
| 12 審議結果表/意見書 | 16 スマイルインタビュー  |



【タイトル】 渡月花  
【氏名】 濱本 恵介 さん  
【撮影場所】 亀居城跡

大竹市議会だよりの  
表紙写真を募集しています

応募方法は市のホームページ又は  
議会事務局までお問い合わせください。



# 第1回 臨時会

令和8年1月14日に行われました。

## 総務文教委員会 主な審査内容



本会議に出された議案を専門的に審査する必要があるときは、付託つちゅうて総務文教委員会や生活環境委員会に審査を任せるんじや。

令和7年度大竹市一般会計

補正予算(第8号)

**Q** 「重点支援地方創生臨時交付金」の算定基準について問う。

**A** 基本的には、人口、物価上昇率、財政力等を基礎として算定されている。

**Q** かき生産安定緊急対策事業について事業効果の検証方法を問う。

**A** 大竹市内にある17のかき養殖業者が減らないこと。長い目で見て、これから先もこの事業者の事業が継続できること。

**Q** 「かき生産安定緊急対策事業」の受付開始時期と、事業者への支給時期を問う。

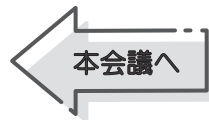
**A** 広島県の事業である「広島県かき養殖再生産緊急支援事業」は、1月下旬に、漁業者を対象とした説明会が開催される予定となっている。早ければ3月か4月頃には交付できるのではないかと考えている。市の独自事業である「かき養殖業者給付金」については、これから要綱等の細かい部分を作成していく予定である。

**Q** 大竹市内での、いかだの更新見込み台数を問う。

**A** いかだの耐用年数が5年で、5年に一度やりかえるので、全体の5分の1程度が毎年更新の対象となり、今期も110台程度が更新の対象になると考えている。

採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決

### 大竹市議会だより 紙面WEBアンケート募集中

広報広聴特別委員会では、見やすくわかりやすい紙面づくりに取り組んでいます。紙面づくりの参考にさせていただきます。ご意見をお待ちしております。



アンケートはこちらから▶

第1回臨時会は、令和8年1月14日の1日間、  
第2回定例会は、令和8年3月2日～3月25日の24日間行われました。  
詳細については、令和8年6月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページから録画中継もご覧いただけます。

# 第2回 定例会

## 総務文教委員会 主な審査内容

**Q** 玖波交流館設置及び管理条例の制定について、及び大竹市立公民館設置及び管理条例の一部改正について

**A** 玖波交流館について、いつ頃に愛称を決めるのか問う。

**A** スケジュールを示すことは難しいが遅くとも夏ごろまでには愛称を決定したい。

**Q** 指定管理者の選定について問う。

**A** 当面は、直営で運営する方針である。本条例案の規定は、指定管理を行う場合に必要な事項を定めるものである。

**Q** 鳥獣被害対策実施隊員の報酬を新設すること、何を改善したいのか問う。

**A** 集落内の狩猟免許取得者が個人の責任で有害鳥獣の捕獲に対応してきた状況を見直したい。捕獲作業時市として支援を行い、地域農業を守る有害鳥獣対策を、持続可能で無理のない形にしていきたい。

大竹市消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正について

Q 近隣市町における消防団員の定年制度について問う。

A 25市町中、65歳定年が大竹市を含む6市町、70歳定年が2市町、残りの17市町が定年を定めていないという結果であった。

Q 定年延長で世代交代が遅れる懸念があると思うが、若年層や女性団員の加入促進については、どのように取り組んでいるのか問う。

A 現役団員の人脈を通じた勧誘が大半を占めている。

Q 定年延長によるメリットとデメリットを問う。

A 団員減少のスピードが鈍化でき、その間に、長い経験を持っている方から、様々な知見の継承が期待できることはメリットである。デメリットとして、体力面の懸念はあるが、体力面に配慮しながら活動を継続していくことはできると考えている。

※事前に自由討議の申し出があったため、委員会を休憩し、自由討議を行いました。

■「中山間地域における消防団の人手不足等も含めた実態の把握状況や、消防団の中の会議で、どのように議論が重ねられてきたのか、などが不明瞭である。」という理由で「閉会中の継続審査」を求める意見が出され、採決の結果、「閉会中の継続審査」と決しました。

補足資料の追加提出を受けて3月16日に2回目の委員会を開催

Q 令和7年9月11日の団幹部会議で、定年延長についての話があり、令和7年11月6日の団幹部会議で定年延長の是非を投票しているが、これより以前に団幹部会議で意見を集約したり、話し合いを持ったりしようとしたことがあったのか問う。

A 近年の団幹部会議の記録では、確認できていない。

Q 令和6年7月11日に開催された団本部会議に、分団体制の維持が困難となった第10分団の分団長が出席していたのか。また、令和6年9月5日に開催された団本部会議に、定年延長を要望した第11分団の分団長が出席していたのか問う。

A 令和6年7月11日の団本部会議については、第10分団の分団長と近接する区域の分団長が別途協議しており、事前にその結果の報告を受けていたので、当日の会議に分団長は出席していない。令和6年9月5日の団本部会議についても、第11分団の分団長から事前に書面や対面で要望を確認していたので、当日の会議に分団長は出席していない。

Q 令和6年7月11日と令和6年9月5日の団本部会議で話し合われた山間部の分団の現状や課題を、いつ、各分団長が参加する団幹部会議に示したのか問う。

A 令和7年9月11日の団幹部会議において、口頭で現状や経緯を報告した。

■委員から、閉会中の継続審査を求めない旨の意見があり採決の結果、本件は、「閉会中の継続審査としない」とこと決しました。

討議

反対討議

「消防団で議論を尽くした上で、やむを得ず行う定年延長には、反対するものではないが、資料の説明からは、1年間、議題を放置してきたと言われても仕方がないように見受けられ、納得感のない定年延長だと言わざるを得ないため反対。」

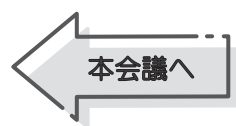
賛成討議

「消防団の中でも、いろいろと議論があったと報告されている中で結論を出されており、議会としては尊重すべき。今回の定年延長は、若年層の消防団員の確保が厳しい中、消防

団員減少の現実を踏まえた前向きな対応であり賛成。」

採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決



討議

反対討議

「消防団が決めたことを追認するだけであれば議会の責任放棄だ。前回の定年延長時に若年層の勧誘強化を図りこのまま70歳に定年延長はしないと言つ決意表明をしたはず。再編や機能別団員制度の検討もせず定年延長することには反対。」

賛成討議

「消防団の決定したことであり、団員個々の考えが集約されているかについて疑義はあるが、尊重すべき。」

本会議での採決の結果

原案のとおり可決



自由討議は、執行部に出席を要するがして詳細だけを議案を深く話し合う場をたじや。

# 生活環境委員会 主な審査内容

## 大竹市役所支所設置条例の一部改正について

**Q** 大竹市役所玖波支所が広島信用金庫旧玖波支店の場所に移転することについて、地域に対する周知方法やそのタイミングを問う。

**A** 周知方法については、令和8年4月から順次、市ホームページ及び市公式LINE等で詳細を知らせていく予定である。また玖波公民館への周知ポスターの掲示や市広報紙への掲載なども予定している。

## 大竹市コミュニティサロン設置及び管理条例の一部改正について

**Q** コミュニティサロン玖波を廃止した後の跡地利用についての考え、施設の管理方法について問う。

**A** 跡地活用について、現段階では未定である。今後、地域のニーズ、市場性及び財政負担などを整理しながら、売却や貸付、他用途への転用など、様々な選択肢を検討する予定である。また廃止後の施設管理の方法について、建物が存続する場合には、当面は施設の安全確保及び防犯対策のための機械警備、建物内部の劣化防止のための定期的な換気など、最低限必要な維持管理に努めたいと考えている。

## 大竹市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について

**Q** 条例案の第9条、利用者負担額等の減免規定について、乳児等通園支援利用料が併記されているが、どのような理由が「特別な理由があると認めるとき」に該当するのかを問う。

**A** 「特別な理由がある」と認めるときに該当するものは、主に経済的な理由によるものであり、生活保護法に規定する被保護者が属する世帯、非課税世帯といわれる地方税法の規定による市町村民税が課されない者である世帯、低所得者世帯といわれる市町村民税所得割を合算した額が7万7101円未満である世帯などが該当する。

## 大竹市国民健康保険条例の一部改正について

**Q** 賦課限度額の引き上げ及び低所得者に対する保険料の軽減措置に係る判定基準を引き上げることで、市又は国民健康保険特別会計に対する影響の見込みを問う。

**A** 負担限度額軽減措置の所得判定基準の引き上げによる影響について、国民健康保険制度では、保険料の負担は負担能力に応じた公平なものとする必要があるとされているが、受益

とのバランスや円滑な運営を確保する観点から、被保険者の保険料負担に一定の限度額が設けられている。賦課限度額を引き上げた場合の影響

としては、被保険者が負担を賄う部分として高所得者層に一定の負担を求めるとなり、その分、中低所得者層の負担が緩和されることになり、市の負担に影響を与えるものではない。また1割軽減、2割軽減の軽減判定基準の引き上げは、物価高騰等に伴う所得水準の全体的な上昇が軽減世帯に影響しないよう行われる措置で、改正する目的は、軽減世帯の対象範囲を維持することであり、市の負担もこれまでと同程度になるものと考えている。

## 大竹市公園条例の一部改正について

**Q** 晴海臨海公園の多目的グラウンドについて有料公園施設として指定し、使用料を設定することに伴う収益と、利用団体への周知について問う。

**A** 昨年度の利用実績から算出すると、使用料収入は年額で約50万円の見込みとなる。また現在、主に多目的グラウンドを利用されている団体には、整備の完了後には、利用料金の徴収を検討していると説明をしている。徴収案についても概ね理解をいただいているが、実際に料金を徴収するまでの期間として1年間を設け

てあるため、今後も利用者への周知を図っていきたいと考えている。

## 大竹市総合福祉センター設置及び管理条例の一部改正について

**Q** 変更後に設置される小ホールの設備及び想定している使用方法について問う。

**A** 小ホールには新たに空調設備及び手洗い場を設置する。変更前はプールとして利用していた空間であり、プールの部分に小さな段差が生じたため、クッションマットを設置し、ベンチのように座れるようにしている。新年度には、乳幼児や子ども達が遊べるよう、プレイマット等を設置する予定である。使用方法については1人でも気軽に足を運んでいただき、自由に過ごす事が可能な空間として使用してもらいたい。また様々な団体が独占的に利用する事も想定している。

採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決

本会議へ

本会議での採決の結果

原案のとおり可決

# ▶ 予算特別委員会

----- 令和8年度予算を審査 -----

8名の委員で構成する予算特別委員会において、3月12日～16日、慎重に審査した結果、可決すべきものと決しました。その後本会議での採決の結果、原案のとおり認定。

予算  
特別委員

委員長：藤川 和弘 副委員長：小田上 尚典  
委員：中野 友博・豊川 和也・岡 和明・西村 一啓・  
細川 雅子・寺岡 公章

## 委員会における質疑及び答弁の一部

### ▶ ふるさと納税促進事業

Q 前年度に比べて1億円の減額理由を伺う。また、返礼品の品目を今後増やす予定があるのか伺う。

A ふるさと納税の制度上、返礼品など寄附の募集に関する経費は寄附金額の50%以内とする制約があり、令和8年度予算は寄附金額として計上した6億円の50%となる3億円を事業費として計上している。令和7年度の寄附金額は9億円を超える見込みであり、令和8年度も同等か、それ以上の寄附金額を集めるよう取り組むが、不確定な要素も多いため、歳入予算を6億円としている。返礼品は新規の品目を随時募集し、該当する可能性のある製品の情報を得た際には事業者に登録を依頼している。新規の返礼品に登録するほか、既存の返礼品でも数量・組み合わせのバリエーションを増やす取組もしており、返礼品のラインナップはかなり充実してきていると考えている。

### ▶ 防犯カメラ設置補助事業

Q 防犯カメラの設置補助金について事業の実施状況及び事業費減額理由と、今後補助対象を自治会等に拡大する考えはないか伺う。

A 令和7年度は令和8年2月27日までを受付期間としており、申請件数は124件となっている。内訳は防犯カメラ34件、インターホン89件、それら両方の申請が1件となっている。令和8年度の予算は、令和7年度の実績及び今後の見込みを勘案して算出している。制度は現行どおりの運用を考えているが、今後、警察等と連携する中で、参考となる意見があれば研究していきたいと考えている。

## こども誰でも通園制度事業

Q 「こども誰でも通園制度」導入の狙いと利用見込み、制度の周知方法について伺う。

A 就労要件問わず利用することのできる「こども誰でも通園制度」の導入のねらいとしては、すべての子どもの育ちを応援すること、子育て家庭に対して多様な働き方やライフスタイルに関わらず支援を強化することの二つである。また、利用見込みについては、生後6カ月から満3歳未満の保育所等に通っていない未就園児をもとに、先行自治体の利用実績を勘案しながら利用時間を見込んでいる。周知については、現在、市広報紙へ制度案内の掲載をするとともに、市ホームページへの掲載や市公式 LINEからも概要が確認できるようにしている。制度を知ってもらうことが重要であると考えているため、対象世帯への効果的な周知方法を検討しながら、利用促進を図っていきたいと考えている。

## 市立保育所等運営管理事業

Q 保育 ICTシステムを導入するに至った背景と目的、また、各園でのシステム導入準備の進捗状況について伺う。

A 保育 ICTシステムを導入するに至った背景としては、基本的に保護者からの欠席連絡などは電話で行っているが、一部の園で電子申請を利用できるようにしたところ、夜間や休日にも欠席連絡ができるということで保護者から好評であった。欠席連絡は一例であるが、システムの導入により、保育業務の多くをシステム化でき、これまで以上に保育施設と保護者間の情報連携を円滑に進めることができると考えている。また、欠席連絡のほかにも連絡帳の記入や保育所のお便りの配信などが可能となり、保護者との情報連携を円滑にし、保護者の利便性満足度の向上を図ることができると考えている。各園でのシステム導入の準備については、各園から選出された保育士を含め、保育 ICTシステムの操作説明を中心に実演を受け、システム導入の理解を深めてきた。また、実際に使用する保育士が中心となり、システムを有効に活用するための方法などを協議する場を設けることで、イメージを深めているところである。保育所の中でしっかりと普及できるよう、体制を整えていきたいと考えている。

## 観光宣伝等事業

Q 観光宣伝等事業について、FAMツアーの概要について伺う。

A FAMツアーは、一般的には観光や旅行の専門家を招待して観光地の宣伝や意見をもらうものだと認識している。現時点で具体的な事業内容は決まっていないが、広島・宮島から大竹への航路の実証運行を実施すること、本市の観光素材について専門家の意見をいただくこと、これらの結果を観光振興計画に反映させること、この三つの観点で事業を実施しようと考えている。

## 新規就農者育成総合対策事業

Q 補助金900万円の詳細は、経営開始資金150万円、大型機械購入750万円を合わせた900万円との認識でよいか。また、事業の名称変更の理由、新規就農者の対象について伺う。

A 900万円の内容は変わっていないが、経営開始資金が、以前は月額12万5,000円で年額150万円であったが、予算策定後に国から新たに月額13万7,500円で年額165万円と、金額が増額になると情報が入ったため、交付対象者が出てきて予算が不足することになれば対応することになる。名称の変更については、国の事業名に合わせて変更しているが事業内容が変わるということではない。事業の対象者については、年齢要件として49歳以下であること、認定新規就農者であること、地域計画に経営体として位置づけられていることが交付要件となっている。

## 文化財保護事業

Q 60万円を計上している「案内板設置等工事」について、こういった内容を予定しているのか伺う。

A 広島県の宿泊税市町交付金を活用し、亀居城跡と、戦後引き揚げ港に指定されていた大竹港に設置することを考えている。亀居城跡に予定している案内板は本丸に、引き揚げ港の歴史に関する案内板は、かつて復員船が見えたと思われる東栄地区の港湾緑地内の海側に設置することを検討している。いずれも、施設や景観の他、人の動線にも配慮して整備していきたいと考えている。

## 中学校管理運営事業

Q 空調設備に関する費用として、「大竹小学校空調設備設計業務委託料」、「大竹中学校校舎空調設備改修工事」の費用が計上されているが、他の学校への空調設備の設置に係る今後の予定を伺う。

A 次に予定しているのは、小方学園である。設計・施工の時期については、これから検討していく段階である。

## 介護保険特別会計

Q 介護保険特別会計の資格取得等支援の補助金について、近年、介護事業所の閉鎖や事業縮小が生じ、利用に影響を及ぼしたことに伴い実施した、様々な施策の中の人材育成の成果について伺う。また、今後、事業を縮小する事業所があるのか伺う。

A 人材育成は、令和6年2月に介護資格の保有者を対象に、学び直し講座（初任者研修再履修講座）を実施し、1名が就労した。また、令和7年6月から9月にかけて実施した介護職員初任者研修で14名が資格を取得し、そのうち4名の新規就労が決定した。そのほか、令和8年1月から2月にかけて実施した再就職支援介護業務理解促進研修の就労相談には4名が参加している。令和7年度の事業所の状況は、居宅介護支援事業所の1事業所が開設したが、1事業所が年度末に廃止する予定である。

## 下水道施設官民連携事業



持続可能な運営を考える上で、民間連携も一つの選択肢として考えていくべきと考えるが、令和7年度に実施したマーケットサウンディング結果を踏まえ、今後の方針を伺う。



官民連携・ウォーターPPPの導入可能性を把握するため、令和7年12月にマーケットサウンディングを実施し、その結果、32社から回答があり、19社から個別ヒアリングの希望意向が示され、当初予想していた10社を大きく上回る関心が寄せられた。そのため企業ごとの個別ヒアリングの日程調整に時間を要し、令和8年4月から順次ヒアリングを実施し、令和8年6月末までにマーケットサウンディングを完了する予定としている。その結果を踏まえ、実施方針案の作成、要求水準書案の作成、企業との競争的対話の実施といった手続きを進め、令和11年度からウォーターPPP事業を開始できるよう準備を進めている。今後も、地元企業を含む多様な事業者の意見を伺いながら、持続可能な下水道運営体制の構築を目指していきたいと考えている。

## 広島県石油コンビナート・総合防災訓練実施事業



広島県石油コンビナート・総合防災訓練実施事業について、訓練内容を伺う。



県と市の共催により、災害対策基本法に基づく総合防災訓練と岩国大竹地区石油コンビナート等防災計画に基づく訓練を合同で行う。大規模災害の発生を想定し、防災関係機関、事業所、自主防災組織などの県民が一体で訓練を実施することにより、綿密かつ効果的な協力体制の構築、防災意識の高揚を図ることを目的としている。実施日は令和8年11月14日土曜日、場所は東栄緑地公園を予定しており、国交省、気象台、海上保安庁、陸海自衛隊等の国の機関、広島県、近隣消防および民間事業者など50程度の機関が参加して、直下型地震や大雨に対し、人命救助、給水の応急対策等連携訓練を実施予定である。

委員会で採決の結果、全会計とも原案のとおり可決

本会議で採決の結果、全会計とも原案のとおり可決



[3月9日]

**日域 究**

(1:48~)

- 小方新駅のJ Rとの協議について
- 道づくりこそまちづくり
- 不登校の原因を究明し、不登校の支援ではなく対策を

**山代 英資**

(1:08:54~)

- 自転車の交通違反に対する反則通告制度（青切符）導入への対応について

**岡 和明**

(1:33:03~)

- 自転車通行帯（ブルーレーン）の整備を

**豊川 和也**

(1:56:43~)

- 日本国歌「君が代」の小、中学校での指導について
- 亀居公園の通年活用による観光活性化について
- 市民サービスを守るため職員へのカスハラ対策を
- 北朝鮮による拉致問題の風化防止に向けた周知啓発の「見える化」と教育の体系化等について
- 次年度クーリングシェルターの予定、暑さ対策

**中野 友博**

(2:50:40~)

- 危険空き家対策の現状と課題について

**第2回定例会**

**一般質問**

**5名が登壇**

**本会議をインターネット中継で  
視聴できるようになりました**

令和8年3月定例会から、インターネット議会中継（ライブ配信）が始まりました。名前横の時間はYouTubeの動画の一般質問開始時間です。



こちらからご覧ください。▶

**答**

小方新駅の設置は、昭和63年3月未策定の新総合計画事業推進プランに初めて位置づけられて以降、現在の第2期大竹市まちづくり基本計画に至るまで連続と明記され、事業を進めてきましたが、鉄道事業者の判断に委ねるところが大きく、市の思いだけではなかなか前に進まない状況です。新駅の設置に必要な土地に、民間の家屋等がある場合についても、先にJ R西日本に新駅設置が可能

**問**

**小方新駅のJ Rとの協議について**



じついき きわお  
**日域 究**

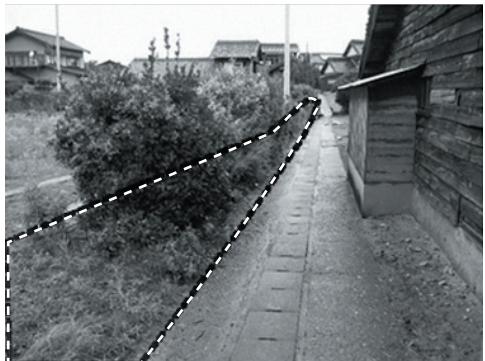
海田新駅の構想が新聞で報道されました。調べてみるとその候補地らしき場所は線路沿いの公園でした。しかし小方新駅の予定地は市有地ではなく民間の住宅地。和木駅も含めてこの様なケースは見当たりません。住民の立退きが必要ならば駅は出来ませんが、土地収用は難しいとも聞きます。立退きは協議の後でしょうか、前でしょうか。

**答**

地権者が、セツトバック部分の土地の分筆及び道路整備を行い、周辺住民の安全で良好な環境などを考慮した上であれば、市が寄付を受けることは可能です。規則等については、各市町の動向や状況を含めて、どういう条件で受け取るのが良いか検討します。

**問**

**道づくりこそまちづくり**  
か、判断してもらうことになりま



(出典) 国交省ホームページより



やましろ ひでただ  
**山代 英資**

**自転車の交通違反に対する  
反則通告制度(青切符)導入  
への対応について**

**問** 道路交通法の改正により、4月1日から自転車の交通違反に対する反則通告制度(青切符)が導入されます。自転車事故は近年横ばいで推移しており、死亡・重傷事故の約4分の3で自転車側の法令違反が認められるなど、対策の強化が求められています。一方で、違反の中には、ながらスマートフォンや飲酒運転のような明確な過失だけでなく、車道の右側通行など、道路環境や整備状況に起因するものもあると考えます。そこで、ブルーレーンへの取り組みも含め、次の4点について本市の考えを伺います。①本制度導入に伴う市民への周知・啓発の方法②警察との連携体制③自転車の安全走行に配慮した道路整備の進め方④今後の自転車通行環境整備に関するロードマップについて

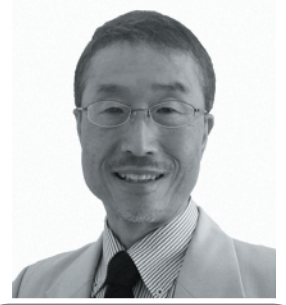


(出典) 広島県警配布チラシより

④現在、具体的な自転車道の整備計画はありません。歩行者や自転車が安全で快適に通行できるように歩道の新設や床版の改修、道路の舗装などを重点的に進めます。

③自転車歩行者道路として都市計画道路大樋筋線を整備しました。現波青木線の一部、立戸小島新開1号線の一部、及び小方20号線においては歩道部を自転車歩行者道として整備しました。また、計画的に路線を定めて舗装の改修や補修工事を行い、歩行者や自転車が安全で快適に通行できるよう対応しています。

**答** ①広報おあたけ3月号及び市ホームページにおいて周知していますが、引き続き警察や交通安全協会等、関係団体と連携して、街頭啓発活動や交通安全教室など各種活動を通じて周知啓発に取り組みます。  
②警察はもとより、交通安全協会などと連携しています。今後も交通事故発生状況や危険箇所の状況の把握・分析・情報共有等を通じて、安全・安心なまちづくりの推進のため、変わらず連携していきます。



おか かずあき  
**岡 和明**

**自転車通行帯(ブルーレーン)の整備を**

**問** 環境や健康など様々な面で自転車の活用が注目され、各地で通行帯(ブルーレーン)設置が進んでいます。レーン整備により自転車と歩行者の安全が向上し、自転車利用による住民の健康増進や災害時の移動手段としての活躍が期待できます。大竹市は6年前に自転車活用推進計画を作り、「自転車通行空間の整備」をうたいました。が、わずか2年で計画は終了し、レーン整備に至りませんでした。国の自転車活用推進法は市町村に自転車活用推進の施策を求めています。1メートルあたりの設置費は東京の前例で8千円たらずとされ、交通施設としては格段の低予算。大竹の見え目の印象も大きく向上します。現波青木線などに設置を進めてはどうでしょうか。



広島市の自転車通行帯

計画終了後も、通学路の危険箇所に対応する工事、歩行者通行帯(グリーンベルト)の整備、早期に改修や補修が必要な橋梁や横断歩道橋などのインフラメンテナンス事業など、優先度の高い事業に人的資源や予算を集中しています。

**答** 本市では「大竹市自転車活用推進計画」を令和2年4月に策定しました。  
計画関連事業としては、大竹駅駐輪場整備や違法駐輪への警告、及び小方ヶ丘地区等のゾーン30への取組などを実施しましたが、ブルーレーンの整備実績はありません。



とよかわ かずや  
**豊川 和也**

### 日本国歌「君が代」の 小、中学校での指導について

**問** 二十歳の集いでの国歌斉唱の状況を踏まえて、市内小中学校における日本国歌「君が代」の指導状況、児童生徒の理解促進、式典での歌唱指導についてはどのような状況でしょうかお聞かせください。

**答** 市内小・中学校における国歌の指導は、学習指導要領に基づいて行っています。社会科では、国歌の意義や国歌を相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解し、国歌を尊重する態度を養うように配慮しています。また、音楽科では、どの学年でも国歌を歌えるように指導しています。式典での歌唱についても、これらの指導などと関連し、国歌に対する正しい認識をもたせ、尊重する態度を育てています。

### 亀居公園の通年活用による 観光活性化について

**問** 新大竹市、美術館からネクスト観光へつなげるため、亀居公園の観光活性化に向け、通年イベント化の仕組み整備と思い出台帳・デジタル記帳を提案します。

**答** 現状、市で通年イベントの仕組みをつくることは考えていません。思い出台帳・デジタル記帳は他自治体の事例などの情報を収集し、研究したいと思っています。

### 市民サービスを守るため 職員へのカスタマーハラ対策を

**問** 市民のために働く職員が安心して働ける職場環境は不可欠です。カスタマーハラシステム対策や相談しやすい体制づくり、名札表示の見直しなどお伺いします。

**答** 令和7年度からカスタマーハラシステム対策の取組として、全職員の名札の表示を見直しました。令和8年10月には労働施策総合推進法が改正予定ですので、本市もこれに合わせて指針を策定し、対策を行います。



なかの ともひろ  
**中野 友博**

### 危険空き家対策の 現状と課題について

**問** 本市で近年空き家が増加し、平成30年の調査では空き家率が17.4%と全国平均を上回っています。人口減少や高齢化が進む中、今後は管理が行き届かない空き家や、倒壊・落下物などの危険を伴う建物の増加が懸念されます。本市では空き家の危険度をA～Eの5段階で評価していますが、現在の判定状況やD・E判定後の対応の流れはどのようなものになっているのでしょうか。また、所有者死亡や相続未整理などにより対応が進まないケースに対して、どのような調査体制や制度活用を考えているのでしょうか。

**答** さらに、不良空き家除却補助事業の活用状況や制度の妥当性を踏まえ、危険化する前の段階から空き家の管理・解体・利活用を促す仕組みをどのように整備していくのか、市の考えを伺います。

**答** 調査は、令和3年から4年度にかけて行い、A判定261件、B判定140件、C判定229件、D判定34件、E判定23件、その他、現地確認できなかった建物17件の合計704件です。D又はEと判定された後、倒壊の恐れや通学路・避難路等への影響、周辺密集状況等を総合的に評価し、緊急性の高い案件から重点的に対応するため特定空家等候補のリストに挙げます。その後、空家等対策協議会で意見を伺い、所有者を探索し、判明すれば、特定空家等に認定し、所有者に助言・指導、勧告、命令と段階的な手続きを経て対応します。また所有者不明の場合は、略式代執行や財産管理制度の活用が考えられます。空き家対策は、建物の所有者に問題意識を持っていただくため、空き家の適正管理・活用に関するパンフレット作成、空き家対策講演会・相談会の開催や不良空き家等除却、補助金の拡充や増額にも取り組んでいます。空き家対策は行政のみで解決できません。所有者の責任を基本に、地域や関係団体と連携しながら予防的な取組の強化が重要です。空き家の発生抑制と適正管理の推進に努め、安心・安全な生活環境の確保に取り組みます。

## 第1回市議会(臨時会) 議案の審議結果表

	議案など	北地範久	中野友博	豊川和也	山代英資	岡和明	小出哲義	末広天祐	藤川和弘	中川智之	小甲上尚典	西村一啓	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	審議結果
議案第1号	令和7年度大竹市一般会計補正予算(第8号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

## 第2回市議会(定例会) 議案の審議結果表(主な議案)

	議案など	北地範久	中野友博	豊川和也	山代英資	岡和明	小出哲義	末広天祐	藤川和弘	中川智之	小甲上尚典	西村一啓	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	審議結果
議案第2号	令和8年度大竹市一般会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	令和8年度大竹市介護保険特別会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	令和8年度大竹市下水道事業会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	玖波交流館設置及び管理条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	大竹市役所支所設置条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	大竹市コミュニティサロン設置及び管理条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	大竹市総合福祉センター設置及び管理条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	大竹市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	大竹市国民健康保険条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	大竹市公園条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号	大竹市立公民館設置及び管理条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	大竹市消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正について	—	●	●	○	●	○	●	○	○	●	○	○	●	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 —: 議長 ○: 賛成 ●: 反対 欠: 欠席 棄: 棄権 除: 除斥

意見書は議会の意思をまとめた文書で、国などに提出できるんじや。

### 議員提案

### 継続審議

外国人の土地取得に制限を掛けることを求める意見書(案)

### 意見書(抜粋)

内閣府は、土地利用規制法に基づき、自衛隊基地や原子力発電所など安全保障上重要な施設の周辺を調査したところ、外国人や外国系企業による取得は全体の2.2%であり、施設の機能に影響を及ぼすような事例は確認されなかったと報告している。

しかし、この調査は法律で定められた区域に限られており、対象外地域における取得の実態については、国として十分に把握されていないのが現状である。

国土と地域社会を将来にわたって守っていくためには、土地の取得や利用の実態を正確に把握し、必要に応じて制度の見直しや運用の強化を行うことが大切である。国民が安心して生活できる環境を確保するためにも、国として実効性のある取り組みを進めることが求められる。

国防や治安に加えて、所有者不明の土地の存在に困っている現況を考えると、そこに外国人が加わればまちづくりの大きな障害となり得る。

よって、国におかれては、外国人による土地取得の状況を全国的に調査するとともに、国土保全と地域の安全を守る観点から、必要な制度整備および運用の強化を早急に実施されるよう強く要望する。



国の動向を待ち市内の課題を整理するために継続審査とすべきと考える。

# 先進地事例調査研究

令和8年1月21.22.23日 生活環境委員会 委員長 藤川 和弘

- 神奈川県三浦市 ▶ 令和8年1月21日(水)「ウォーターPPPの取り組み」について
- 東京都世田谷区 ▶ 令和8年1月22日(木)「自転車通行帯(ブルーレーン)整備の取り組み」について
- 東京都八王子市 ▶ 令和8年1月22日(木)「八王子てくポ」について
- 千葉県千葉市 ▶ 令和8年1月23日(金)「千葉市障害者基幹相談支援センターの取り組み」について

ウォーター PPP については、財政や人材不足の中で民間連携は有効な選択肢である一方、行政の監督体制や技術力の維持、将来の見直しの可能性を十分に考慮する必要性を感じた。ブルーレーン整備では、自転車利用者の安全性や視認性を高める整備方法の重要性を実感した。てくポでは、行政事務の効率化やデータ活用の可能性がある一方、費用負担や運営体制の検討が不可欠であると感じた。また、障害者基幹相談支援センターについては、事業所の支援力向上や困難事例への対応力強化のためにも重要な役割を担うと認識した。今回の視察で得た知見を、本市の施策検討に生かしていく必要があると感じた。



令和8年2月4.5.6日 総務文教委員会 委員長 中川 智之

- 大阪府門真市 ▶ 令和8年2月4日(水)「中学校部活動地域移行事業」について
- 大阪府四条畷市 ▶ 令和8年2月5日(木)「教育のデジタル化」について
- 大阪府池田市 ▶ 令和8年2月5日(木)「スマート農業を生かした農福連携」について
- 大阪府寝屋川市 ▶ 令和8年2月6日(金)「働き方改革」について

門真市では、中学校部活動の地域移行について教育委員会教育部および生涯学習課から説明を受け、背景や現状、課題と効果を伺い、持続可能な部活動の実現に向けた取組は、本市にとっても参考となるものでした。四条畷市では、教育支援センターより教育のデジタル化に関する取組を調査、AI型ドリルの活用やICTによる校務支援の効率化などを調査研究しました。池田市では、「まちづくり環境部」から、スマート農業を活用した農福連携の地域活性化事業について説明を受け、農業と福祉を結びつける取組は、地域の新たな担い手づくりにもつながる可能性を感じました。寝屋川市では、総務部を中心に、望まない残業の解消やワークライフバランスの実現、市民サービス向上をめざした働き方改革について伺い、業務改善の具体的な工夫や職員の意識改革などを学びました。いずれの市でも担当者の熱意と工夫が伝わり、参加した委員・市職員にとって大変有意義な学びとなりました。今回得た知見を、今後の本市施策の充実にしっかりと反映してまいります。



## 基地周辺対策特別委員会

執行部からの主な報告 令和8年3月4日

### 阿多田島におけるdB(デシベル) 値測定状況

月	90dB以上	80dB以上	70dB以上	測定回数
11月	32	100	38	170
12月	61	166	66	293
1月	114	216	73	403
合計	207	482	177	866

音の大きさの目安は 90dB：騒々しい工場の中 80dB：電車の車内  
いずれもうるさくて我慢できない大きさ

## 議会のあり方調査研究特別委員会

本年1月より、議会報告会の具体的な改善について取り組んでいます。  
委員から様々なアイデアが出るなか、小グループでのディスカッション形式が私たちの目指す形ではないかと協議を進めました。先進的に行っておられる三重県鳥羽市議会の事例を参考にさせていただき、大竹市議会に相応しい改善をしていきます。

今後、PR活動の方策と仕組みの柔軟性を念頭に置きつつ、  
①広報として、現行の地区報告会のスタイルを維持しつつ、  
②広聴として、意見交換の色合いを濃くするやり方を模索していき、  
③併せて、出前意見交換会のやり方を探っていきます。

## 小方まちづくり特別委員会

3月4日(水)に小方まちづくり特別委員会を行い、執行部より各団体、関係者へのアンケートや聞き取り調査「道の駅基本構想・基本計画に係る意見集約及び市場調査」の報告がありました。小・中学生や子育て世代へ、道の駅に対してどのような思いがあるか調査するためのグループインタビュー、さらに小方まちづくり特別委員会で行われたグループインタビューの結果をまとめていただき、執行部から報告していただきました。

## 議会を傍聴される皆さんへ 新たな取組が始まりました

### ■各委員会 会議資料の表示

大竹市議会では、ペーパーレス化を推進するとともに、議事日程や議題となっている説明資料等を表示するため、委員会室後方に資料等を表示する大型モニターを2台設置しています。

詳しくはホームページをご覧ください ▼



### ■聴覚に障害のある方々へのタブレット端末の貸出

聴覚に障害のある方等に、音声を文字に変換して表示するタブレットをお貸しします。  
希望される方は、傍聴を希望する会議の2日前(土日祝日を除く)までに議会事務局へご連絡ください。

# 議会日誌

令和 8 年 2 月  
～令和 8 年 4 月

## 令和 8 年

- |      |   |      |                            |
|------|---|------|----------------------------|
| 2月4日 | 総務文教委員会先進地事例調査研究  | 3月9日 | 本会議                        |
| 5日   | 総務文教委員会先進地事例調査研究  | 10日  | 本会議                        |
| 6日   | 総務文教委員会先進地事例調査研究<br>全国高速自動車市議会協議会定期総会(東京都)                  |      | 予算特別委員会                    |
| 9日   | 広報広聴特別委員会   | 12日  | 予算特別委員会                    |
| 10日  | 生活環境委員協議会<br>生活環境委員政策研究会<br>総務文教委員政策研究会<br>議会のあり方調査研究特別委員会  | 13日  | 予算特別委員会                    |
| 13日  | 広島県市町総合事務組合定例会(広島市)   | 16日  | 予算特別委員会<br>総務文教委員会         |
| 17日  | 全国市議会議長会地方行政委員会正副委員長会議<br>全国市議会議長会地方行政委員会(東京都)              | 24日  | 議員研修会<br>議員全員協議会           |
| 19日  | 各派代表者会議   | 25日  | 議会運営委員会<br>本会議             |
| 20日  | 議会運営委員会   | 27日  | 総務文教委員政策研究会<br>生活環境委員政策研究会 |
| 25日  | 議員全員協議会<br>議会運営委員会  | 4月9日 | 広島県市議会議長会事務局長会議(広島市)       |
| 3月2日 | 本会議<br>総務文教委員会<br>総務文教委員政策研究会                               | 17日  | 広島県市議会議長会定例会(広島市)          |
| 3日   | 生活環境委員会   | 20日  | 広報広聴特別委員会                  |
| 4日   | 基地周辺対策特別委員会<br>小方まちづくり特別委員会<br>広報広聴特別委員会<br>議会のあり方調査研究特別委員会 | 22日  | 議会のあり方調査研究特別委員会            |
|      |   | 23日  | 中国市議会議長会総会(松江市)            |
|      |   | 24日  | 中国市議会議長会視察(雲南市)            |

## 議会報告会

令和 7 年 11 月 11 日から 22 日にかけて、大竹市議会の議会報告会を開催しました。今回は議員を A～C の 3 班に分け、市内 9 地域（栄町、小方、松ヶ原、立戸、玖波、栗谷、大竹、阿多田、木野・川手）で実施しました。参加者からは、防犯カメラや新町ポンプ場などの防災・安全対策、デマンド型乗合タクシーやバスなど公共交通に関する課題、人口減少や空き家対策、道路を含めたインフラ整備など、生活に密着した多岐にわたる貴重なご意見・ご要望が寄せられました。頂いたご意見は、今後の議会活動や市政への提言にしっかりと活かしてまいります。ご参加ありがとうございました。

資料等はホームページへ掲載しております▶



令和 7 年			
開催日	班	会 場	参加者数
11/11	A	サントピア大竹	9 人
11/14	A	おがたピア	16 人
11/22	A	松ヶ原集会所	9 人
11/11	B	立戸公民館	14 人
11/12	B	玖波公民館	13 人
11/13	B	小栗林集会所	9 人
11/11	C	アゼリアおおたけ	19 人
11/12	C	阿多田保育園	10 人
11/13	C	木野集会所	9 人
合 計			108 人



# 大竹市の好きなところは 地域の人たちがあたたかくて 優しいところです

第50回のインタビューは  
大竹中学校生徒会

執行部の皆さん です



このメンバーで頑張ります

## 中学校のテーマ・スローガン その経緯を教えてください

今の大竹中学校の生徒会スローガンは、「新風く大空につなぐ」です。このスローガンに込められた思いは、前のスローガンである「青春開花く咲かせる自分の花」から繋がっています。このスローガンの時に咲かせた自分の花

に新風を吹かせ、希望に満ち溢れた大空へ繋いでいこうという思いが込められています。このスローガンの通り新風を吹かせようと生徒一同、いろいろな取り組みに全力を尽くしています。

## 生徒会活動のやりがいや 頑張りたいことを教えてください

生徒会活動のやりがいは、行事などの生徒会企画で、みんなが楽しんでいる姿を見ることがです。生徒会みんなで放課後遅くまで残り、意見やアイデアを出し合い、みんなが楽しめるように工夫をしています。行事が終わった後に「楽しかったよ」と言ってもらえて、頑張った良かったやりがいを感しました。

大変なことは勉強と生徒会活動の両立です。自分の仕事とテスト勉強を期限内にしないといけないので、時間を上手に使うことを頑張りたいです。



みんなでゲームを楽しんでいる様子♪

## 大竹中学校の学校自慢を 教えてください

大竹中学校の自慢は2つあり、無言清掃と挨拶です。無言清掃をすること

で、学校がとてもきれいになり、生徒一人ひとりが気持ちを落ち着かせることもでき、授業に集中できます。

そして挨拶は大竹中学校がとも力を入けて取り組んでいる活動の一つです。挨拶をすることで、学校全体に活気が溢れ、他学年との交流も増え、行事も全力で取り組みます。

## 学校生活や生徒会活動をする中で 困りごとや課題はありますか

生徒会活動では、問題に対して生徒一人ひとりのニーズに合わせた適切な解決策を考えることが大変だと感じます。ですが、先生方のアドバイスや生徒会メンバー12人でアイデアを出し、まとめてより良い解決策を考えます。また、これは私事ですが、生徒会活動はとても大切だと思いますが、放課後に活動することで部活動に行く頻度が少なくなってしまうことに寂しさを感じます。

## 大竹市の好きなところはなんですか

大竹市の好きなところは、地域の人たちがあたたかくて、優しいところです。挨拶をすると笑顔で返してくれます。

また地域のつながりが強く、市が一つになつて祭りやボランティア活動などをしています。大竹市には体育館や公園が多く揃っており、幅広いスポーツや遊びを楽しむことができ、家族や友人と気軽に体を動かしたり、楽しい時間を過ごせる環境が大好きです！

CHECK!!



## 3月定例会の主な流れ

